



今年度も残すところあと1ヶ月となりました。2月の発表会では、子どもたちの成長を感じることができました。季節の変わり目や環境の変化は、ストレスがかかりやすく、体調を崩しやすいです。子どもたちスムーズに新しい生活に移行できるよう、手洗い、うがい、規則正しい生活をする事で感染予防に努め元気に新年度を迎えましょう。

ウイルス性胃腸炎

ウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスが原因の胃腸炎で、数時間前まで元気だったのに、突然顔色が変わり嘔吐が始まるケースが多く見られます。下痢の症状は、数日前から出る場合もあれば、嘔吐が始まってから出る場合もあります。嘔吐物や便から感染するケースが多いので、早めの処理と消毒が、集団感染の予防につながります。

吐いたときは...

子どもは少しの刺激でも吐くことがあります。

- ①嘔吐物が気道に詰まって窒息しないよう、子どもの頭と体を横に向けて寝かせます。
- ②口の周囲をきれいにし、嘔吐物の内容を確認します。受診する時に、しっかり伝えられるようにしましょう。
- ③体温を測り、顔色や呼吸の状態などをチェックします。

うがいができる年齢の子どもなら、うがいをさせ、衣服が汚れていたら取り替えてあげましょう。

水分補給をしましょう

水分補給は吐き気が治まるまで(最終吐いてから1時間ほど)は控え、子どもが水分を欲しがらうなら、経口補水液を少量ずつ飲ませてみましょう。

最初は10ml程度から飲ませ、30分吐かなければ20ml程度というように徐々に増やしていきます。コップ1杯ほど吐かずに飲めるようになったら固形物を試みましょう。

下痢をしたときは...



下痢の時の食べ物

おかゆ、うどん、野菜スープ、バナナ、りんごのすりおろしなどが適しています。生野菜や、柑橘系の果物、バターの多いパン、油っこい物、消化の悪い物は避けましょう。

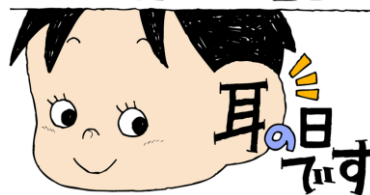
※24時間以内に複数回の下痢や水様便、嘔吐がある場合は、預かることができません。ご家庭での保育をお願い致します。



2月の感染状況

ウイルス性胃腸炎 3名 インフルエンザ A型 1名
下痢、嘔吐 複数名

3月3日は



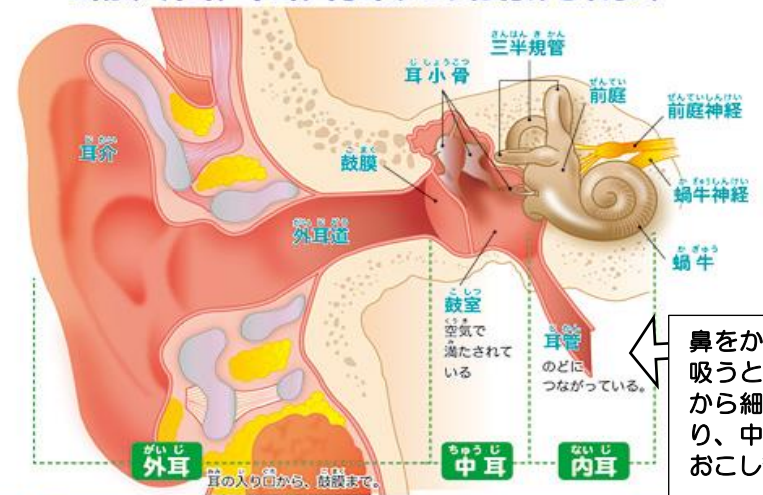
どうしてこどもは中耳炎になりやすいの？

子どもの耳管は咽頭に対してほぼ水平で短く、菌が中耳に侵入しやすい構造になっており、成長と共に耳管の長さや角度も変わる為、中耳炎を起こしにくくなります。

耳の中の炎症ということから、耳から菌が侵入して発症すると思われがちですが、実はのどや鼻に菌が入ることが原因となり風邪がきっかけで発症する場合がほとんどです。

耳のしくみ

耳は、外耳、中耳、内耳の3つに分けられます



家庭での予防・ケア

中耳炎を予防するには風邪症状に対するケアが大切です。風邪による鼻の症状がある時には、早期に受診することで中耳炎の発症を防いだり、軽い症状で終わらせることが期待できます。

鼻水には中耳炎を引き起こす菌が混じっていることが多いので、鼻をかむことが大切です。鼻をかむ時は、左右同時にかむのではなく片方ずつそっとかむことを教えてあげてください。

1年でどれくらい大きくなったかな?

ひまわり組と転園の方は「すくすくけんこうてちょう」をお持ち帰り下さい。なのはな、あじさい組は確認後、返却棚にお願いします。予防接種の追加記入もお願いします。

3月の予定

4~8日 発育測定